

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人フードバンクよしみ・かわじま

事業名	フードバンク事業	
助成事業の種類	SDGs 推進事業・地球分野	
1. 事業の目的	<p>(1) フードバンクの活動をとおして、食品ロスの減少や経済的に困っている家庭の食品確保を応援します。</p> <p>(2) フードバンク活動への理解を広げ、食品の提供や会員・支援者の増加に努めます。また、組織・維持・発展を図ります。</p>	
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	<p>(1) 家庭で使われない食品や日用品、米の生産者の余剰米、企業などで廃棄される予定の食品・日用品などを有効に活用し、食品ロスなどを減らす課題。</p> <p>(2) 経済格差の広がりや家庭の事情で、食品などの確保に困っている家庭を応援する課題</p>	
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<p>(1) 食品などを確保するため、フードドライブ(会場で、食品等の寄付をいただく活動)を毎月4~5か所で開催しました。また、常設箱(3団体・店舗)を毎週回収し、「フードバンク埼玉」や「フードバンクネット西埼玉」からの食品提供を受けてきました。また、埼玉県「夏休みカレー大作戦」、「ブックサンタ」の絵本・児童書寄贈などに申し込みました。</p> <p>(2) 食品などを提供するため、フードパントリー(会場で、食品等をお渡しする活動)を吉見町と川島町で隔月に開催し、登録者への食品等の配達を隔月で実施しました。毎月60から90世帯の方に食品などを無料で提供しました。</p>	
	時期	内容
	7月	上記の(1)(2)を行いました。 パントリー利用 27 世帯、配達 37 世帯、 食品取扱い重量：797 kg
	8月	上記の(1)(2)を行いました。 パントリーはお休み、配達 48 世帯、 食品取扱い重量：751 kg
9月	上記の(1)(2)を行いました。 パントリー利用 27 世帯、配達 41 世帯、 食品取扱い重量：1,621 kg	

	10月	上記の(1)(2)を行いました。 パントリー利用32世帯、配達34世帯、 食品取扱い重量：1,294 kg		
	11月	上記の(1)(2)を行いました。 パントリー利用31世帯、配達35世帯、 食品取扱い重量：1,171 kg		
	12月	上記の(1)(2)を行いました。 パントリー利用57世帯、配達39世帯、 食品取扱い重量：863 kg		
	1月	上記の(1)(2)を行いました。 パントリー利用50世帯、配達33世帯 食品取扱い重量：1,826 kg		
	2月	上記の(1)(2)を行いました。 パントリー利用世帯62、配達27世帯、 食品取扱い重量：893 kg		
	<p>広報実績について</p> <p>(1)独自のチラシを毎月1,500~3,000枚作成し、会員のポストインにより、フードドライブやフードパントリーの日程などをお知らせしました。会員向けには、毎月「会報」を発行しています。ホームページでも、フードバンクよしみ・かわじまの企画をお知らせし、パントリーへの申し込みもできるようにしています。</p> <p>(2)吉見町と川島町に依頼し、町の広報誌でドライブやパントリーの概要を案内していただきました。吉見町では、町が編集する『ライン』に、独自チラシを掲載していただき、「町のラインを見て・・・」参加した方が増えました。2つの町の担当部署や社協との懇談などをとおして、相互理解や協力を大切にしてきました。</p>			
4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容	<p>(1)フードパントリーや配達をとおして、毎月60~90世帯の高齢、単身子育て世帯などの生活を応援し、約9,200kgの食品を有効に利用することができました。</p> <p>(2)「敷島製パン埼玉工場」から引き続きパントリーや配達時に、200点以上のパンを提供していただきました。新たに「明治・安田生命坂戸支店」や吉見町の「斎藤組」様からも多くの食品・日用品の寄付をいただきました。引き続き、県立川島ひばりが丘特別支援学校、県立特別支援学校坂戸ろう学園、埼玉県信用金庫(吉見、川島支店)、埼玉県衛生研究所と公益財団法人「健康づくり事業団」、ヤオコー川島店、ファミリーマート川島町正直店、小池農園などから支援していただきました。</p> <p>(3)会員は、正会員44人、サポーターは20人で、変更はあり</p>			

	ませんでした（2021年4月結成時は正会員32人）
5. 費用面での工夫	フードバンク事業では、チラシの印刷を除き、食品の配送、記録、賞味期限別の仕分け、セット、イベントの開催、食品の配達、米の精米・袋詰めなど実務を会員の手で実施しています（食品などの受取や配達時のガソリン代も本人負担で改善が必要です）。
6. 地域社会への還元について	<p>（1）食品などを提供し、困窮家庭の生活を応援しています。</p> <p>（2）社協から依頼のあった方へのパントリー参加や配達を行っています。</p> <p>（3）大量に入手できた食品や日用品を吉見町の子ども食堂（しいの木ひろば）、川島町の4学童保育などに寄付しています。</p>
7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	<p>（1）「フードバンクよしみ・かわじま」のお知らせを広げながら、会員、協力団体・企業などを増やします。</p> <p>（2）会員や会員外の募金を増やし財政を安定させながら、会員の個人負担（ガソリン代など）を減らして行きます。</p> <p>（3）行政や企業のボランティア団体への支援情報を把握し、事業を継続・発展させていきます。</p>